

この度は図脳 TeCA を導入いただき誠にありがとうございます。
このプログラムでは、図脳 TeCA の設定情報の確認と変更、TeCA 自体の起動、停止及び再起動を行うことができます。詳しい設定情報やご利用上の注意などは以下にまとめています。図脳 TeCA 運用の最適化にお役立てください。

1. インストール

このツールは以下の 2 つのファイルで提供されます。

ファイル名	説明
Setup_TeCASettings.msi	このツールのインストールプログラムです
windowsdesktop-runtime-6.0.14-win-x64.exe	Microsoft 社のランタイムパッケージです

【ご注意】

このプログラムは図脳 TeCA のサーバー上でのみ動作するよう作られています。クライアント PC にインストールしても動作しませんのでご了承ください。

【インストール手順】

1. 図脳 TeCA サーバーの任意フォルダに上記ファイル 2 つを配置します。
2. 先に、Microsoft 社のランタイムパッケージをインストールしてください。
ファイルをダブルクリックし、あとは[次へ]を数回押すことで完了します。
3. 次に、ツール本体である「**Setup_TeCASettings.msi**」のインストールを行ってください。
インストール後は、デスクトップと[スタート]に「TeCA システム設定と再起動」が作られます。

※インストール作業でシステム再起動は発生しません。

2. 使い方

1. デスクトップのアイコン、または[スタート]から、「TeCA システム設定と再起動」を起動します。
起動すると以下のような設定ボックスが開きます。



システム導入時（または本ツール受領時）にお渡しする ClientID と SecretID を入力し、「認証」を押します。

現在のシステム設定値です。
変更を行う場合は ClientID、SecretID を入力しますが、赤枠内 3 項目は変更できない設定値です。

実行モードを選択して実行します。

2. 設定値を変更したり、図脳 TeCA の起動や停止を行う場合は、ClientID と SecretID を入力し、[認証]を押してください。

設定値を変更するにはClientIDとSecretIDを入力して下さい

ClientID	hoge.co.jp	認証
SecretID	●●●●●●●●●●●●●●●●	

認証が成功すると、システム設定値を適宜修正できるようになります。設定値の詳細は以下の通りです。

設定値	内容
API Domain	図脳 TeCA-API でログイン ID を宣言する際に付与しなければならない文字列です。 (変更不可な設定値です) (例) API Domain が[Photron.co.jp]、TeCA へのログイン ID が[taro]なら、API では [taro@photon.co.jp]と記述します。
最大ユーザー数	ご契約いただいた最大アカウント数です。(変更不可な設定値です)
アップ時のファイルサイズ	アップロード操作 (チェックインも含む) のとき、アップロードできるファイルの 1 ファイル当たり最大サイズです。このサイズを超えたファイルをアップロードしようとするとエラーになります。(変更不可な設定値です)
1 操作でアップできる最大ファイル数	運用スタイルに合わせて数値を調整してください。特に上限はありませんが、アップロード処理自体はそれなりにサーバーパワーを要しますので、システムの動作を遅くする原因になります。上限の目安は 3 00 までをお勧めします。
1 回あたりの最大変換数 (即時変換)	アップロード操作 (チェックインも含む) では、システム内部でサムネイルやプレビュー表示用の PDF を作ります。この操作 1 回につき、最大何ファイルまで処理するかを決める設定値です。この数を超えてアップロードされた場合は処理が保留され、夜間バッチで変換処理が行われますので、「1 操作でアップできる最大ファイル数」と同一かそれよりも若干大きい値にしておくことをお勧めします。PDF 変換はサーバーパワーを消費しますので、あまり大きくしないようにしてください。
変換最大数 (夜間バッチ)	アップロードされでも PDF 変換が保留扱いになってしまったファイルは、夜間に変換を行います。この値は、夜間に最大何ファイルまで処理するかを設定します。バッチ処理自体の開始時刻はタスクスケジューラで管理されていますので、始業時間にかぶらないような数値にすることをお勧めします。なお、1 ファイル当たりの平均的な変換処理時間は 15 秒が目安です) (例) 夜間バッチが 23:00 に起動し、始業時間は翌日 9:00 である場合、夜間バッチを動作させることができるのは最大 10 時間ですが、余裕をもって 7 時間とすると、7 時間で処理できるのは、 $7 \times 60(\text{分}) \times 4 = 1680(\text{ファイル})$ となるので、この設定値は 1680 とすればよいことになります。
縦スクロールバッファ	アップロードで大量のファイルを処理したとき、確認画面のファイル一覧でスクロールをしたとき、バッファオーバーとなって異常な表示をすることがあります。その場合にこの数値を一段階上げていただくと、動作が改善します。
メール通知機能 ON/OFF	オンの場合はメール通知機能を有効にします。オフの場合は無効化します。オンの場合、TeCA からメール送信サーバへの接続設定を行うことができます。
ログモード	メイン画面のログ機能ではなく、フォトロンが使用するシステム内部ログの出力モードです。(出力先: C:\%teca%\log) INFO: 最低限の内容でログを出力します DEBUG: トラブル発生時の動作トレース用ログを出力します。
ログインタイムアウト	ログインしてから、無操作状態が続いた場合、強制ログアウトするまでの時間。
「手のひらツール」を最初から使用する	ON: プレビュー画面での手のひらツールがデフォルトで使用可能になります。 OFF: 従来と同様に「手のひらツールを有効」で使用可能になります。
UPLOAD_CHUNK_SIZE	TeCA—API でアップロード系 API を使用するときに影響するパラメータで、大きなファイルをアップロードするときにファイルを分割するサイズです。

3. 設定値を変更したら、実行モードを切り替えて[実行]を押してください。
実行モードは以下の 4 通りです。(いずれのモードでも、WidowsServer は再起動されません)

実行モード	内容
変更せず再起動	設定内容の変更は適用せず、図脳 TeCA を再起動します。
変更して再起動	設定内容を適用して図脳 TeCA を再起動します。
TeCA を停止する	設定内容の変更は適用せず、図脳 TeCA を停止します。
TeCA を起動する	設定内容の変更は適用せず、図脳 TeCA を起動します。

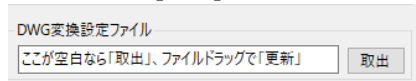
[実行]押下後、再起動や停止は約 3 ～ 4 分、起動は 30 秒ほどかかります。

4. 本ツール使用後は、右上の[X]でプログラムを終了してください。

3. DWG 変換設定

「TeCA システム設定と再起動」では、以下の手順で図脳 TeCA の DWG 変換設定を変更することができます。

1. 下図の状態の時に[取出]ボタンを押すと、現在の変換設定ファイルがデスクトップにコピーされます。



2. 取り出した設定ファイルを、テキストエディタで書式に基づき訂正してください。
 - ・訂正後のファイル名は特に制限はありません。任意名称のファイル名でシステムへ更新できます。
 - ・書式についてはスタートメニュー内の解説文書をお読み下さい。
3. 訂正したファイルを以下のテキストボックスにドラッグ＆ドロップすると、ボタンが[更新]になりますので、[更新]を押し、システムへ反映してください。（TeCA の再起動は不要です）

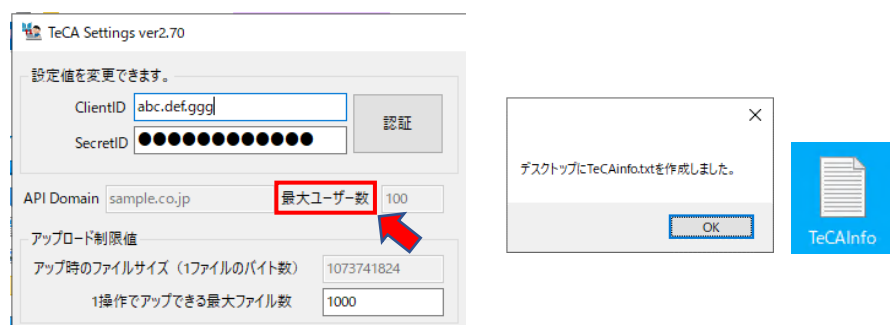
4. ライセンスを追加購入した場合

ライセンスを追加購入したときは、本ツールで以下のようにライセンス数を増やす操作を行ってください。

【システム情報ファイルを用意する】

この操作には、「TeCA システム設定と再起動」ツールの Ver2.7 以後を必要とします。ツールが古い場合は、最新版のインストールをお願いいたします。（最新版の入手は弊社までご一報ください）

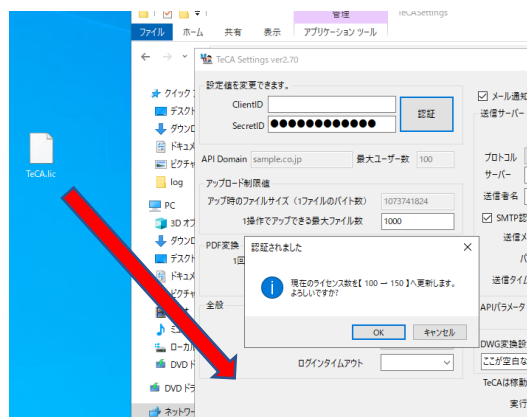
1. 本ツールを起動し、ClientID と SecretID の入力で[認証]が終わった状態のとき、[最大ユーザー数]と書かれたところをクリックして下さい。デスクトップに TeCAInfo.txt が作成されます。



2. この[TeCAInfo.txt]を弊社までメール等でお送りください。弊社から 1 ～ 2 営業日後にライセンスファイルをお送りいたします。

【ライセンスファイルを投入する】

1. 本ツールを起動し、ClientID と SecretID の入力で[認証]が終わった状態にしてください。
2. ライセンスファイル（「TeCA.lic」）をツール上の何も無い場所にドラッグ＆ドロップすると、最大ユーザー数が更新されます。



3. 実行モードを[変更して再起動]として[実行]すれば、図脳 TeCA の再起動後、ライセンス数が反映されます。

5. TeBack (データベースバックアップツール)

TeBack の実行中は図面 TeCA が完全停止します。ユーザー様がいないことを確認の上でご利用ください。

Ver2.75A から追加された、コマンドラインベースのツールです。

デスクトップにある「TeBack.exe」を任意のフォルダに配置し、**ローカル管理者権限でご利用ください。**

・バックアップ

TeBack -o 保管フォルダ [-v] [-d 日数]

-v	メッセージを表示します。コマンドプロンプトからの実行時にご利用ください。 このオプションを指定しない場合、すべてのメッセージが非表示となります（タスクスケジューラ用のモードです）
-d 日数	過去のバックアップデータを、何日前までの分を残して抹消するかを指定します。 このオプションを指定しなかった場合、過去データの抹消は行いません。

- ✓ 保管フォルダ フルパスでの指定必須ですが、「¥¥共有サーバ名¥ 共有フォルダ名」での指定も可能です。
存在しないフォルダは指定できません。
- ✓ ログ デフォルト出力先は C:¥TeCA¥LOG¥BACKUP です。環境変数[TeBackLOGDIR]で変更することができます。
- ✓ 出力データ PostgreSQL の「pg_dump カスタムモード」のファイル形式で出力しています。通常モードと比べ、ファイルサイズや出力時間がほぼ半分、という特徴があります。

【実行例】 **TeBack -o R:¥TeCA-Back -d 30**

TeCA データベースをバックアップし、保管フォルダに保存します。その際、保管フォルダ内で当日から 30 日以前に保管されたバックアップデータがあればすべて抹消します。（コマンドメッセージは一切表示せず、すべてログに記録しますので、タスクスケジューラでご利用される場合に適しています）

・リストア

TeBack -i 保管フォルダ [-v] [-u]

保管フォルダ内のバックアップデータから選択し、実行する対話型のリストアです。

-v	メッセージを表示します。コマンドプロンプトからの実行時にご利用ください。 このオプションを指定しない場合、メッセージが減少します
-u	リストア直前の DB を、アンドゥ DB に保管してからリストアを行います。アンドゥ DB に保管されたデータは、再度このオプションを使用したリストアを行うと新しいデータで上書きされます。また、このオプションを指定しなかった場合、アンドゥ DB は上書きされず、そのまま残り続けます。

- ✓ 保管フォルダ フルパスでの指定必須ですが、「¥¥共有サーバ名¥ 共有フォルダ名」での指定も可能です。
存在しないフォルダは指定できません。
- ✓ ログ デフォルト出力先は C:¥TeCA¥LOG¥BACKUP です。環境変数[TeBackLOGDIR]で変更することができます。

【実行例】 **TeBack -i R:¥TeCA-Back -v -u**

```
C:¥Users¥Administrator¥Desktop>TeBack -i R:¥TeCA-Back -v -u
OutMode: -1
days : 0
Path : R:¥TeCA-Back
以下のバックアップが見つかりました。

230720
230721

上記からリストアする日付を入力して下さい。
日付 6 文字で[Enter] 中止[Enter] : 230721

- TeCA を停止中です。
TeCA は正常に STOP しました。
TeCA は正常に PG_REBOOT しました。
[db0][psql.exe]MSG:ALTER DATABASE.
[db1][psql.exe]MSG:ALTER DATABASE.
[db2][psql.exe]MSG:ALTER DATABASE.
- 現在の DB をアンドゥ DB へ退避しました。
[db0][createdb.exe]完了。
[db1][createdb.exe]完了。
[db2][createdb.exe]完了。
- 新 DB の準備が完了しました。
[db0][pg_restore.exe]完了。
[db1][pg_restore.exe]完了。
[db2][pg_restore.exe]完了。
- 新 DB ヘデータをリストアしました。
- TeCA を起動します。
TeCA は正常に START しました。
--TeBack End--

C:¥Users¥Administrator¥Desktop>
```

・アンドゥ

TeBack -r

リストアで[-u]によりアンドゥ DB 退避されているデータからのリストアを行います。

【実行例】 TeBack -r

```
C:¥Users¥Administrator¥Desktop>teback -r
- TeCA を停止中です。
- アンドゥ DB の存在を確認しました。
- 現在の DB を抹消しました。
- アンドゥ DB から復元を行いました。
- TeCA を起動します。

C:¥Users¥Administrator¥Desktop>
```

・アンドゥ抹消

TeBack -k

リストアで[-u]によりアンドゥ DB に退避されているデータを削除します。

【実行例】 TeBack -k

```
C:¥Users¥Administrator¥Desktop>teback -k
- TeCA を停止中です。
- アンドゥ DB0 を抹消しました。
- アンドゥ DB1 を抹消しました。
- アンドゥ DB2 を抹消しました。
- TeCA を起動します。

C:¥Users¥Administrator¥Desktop>
```

6. 更新履歴

2023-2-24 Ver1 作成

2023-3-7 Ver2 作成

- ・起動用ショートカットが管理者権限昇格するよう変更
- ・ファイルを訂正する際に、ReadOnly 違反で落ちる不具合を修正
- ・ログモードを修正しても、システムに反映されない不具合を修正

2023-3-8 Ver2.3 作成

- ・メール設定を可能にした

2023-3-9 Ver2.5 作成

- ・Upload_chunk_size を変更可能とした。
- ・メール設定の結果、UTF-8 の定義が一部欠落している場合があったことの修正
- ・「TeCA サーバー内 SMTP (Port25) を送信先とする場合の推奨設定」に自動設定するボタンを追加

2023-3-12 Ver2.6 作成

- ・DWG 設定ファイルの取り出しと、書き戻し機能を追加した。
- ・スタートメニューに、「DWG 設定アイルの解説」を作成。

2023-4-6 Ver2.7 作成

- ・追加ライセンス購入時の機能を追加した。
 - － TeCAInfo.txt を出力する機能。
 - － ライセンスファイルの DragDrop から[変更して再起動]を実行すると、ライセンス数を変更できる機能。
- ・ログインタイムアウトの時間設定を可能とした。
- ・共用ライブラリによるソースコードの簡素化を実施した。
- ・多重起動できてしまうバグの修正
- ・Supervisor モードのパスワードを変更。

2023-4-19 Ver2.71 作成

- ・TeCA 起動時「PDF 変換 (EX)」のサービスも起動するようにした。
(PDF 変換サービスが無い場合はアラート表示しつつ動作は継続)

2023-5-9 Ver2.72 作成

- ・TeCA 構築後の初回起動時、[認証]のあと「メール通知機能 : OFF」でもメール設定が変更でき、[変更して再起動]すると落ちるバグの修正
- ・メール設定 STARTTLS の構文が違っていたバグの修正

2023-5-19 Ver2.73 作成

- ・「ゴミジョブを掃除」(通称「パイプマンバッチ」)を実装。夜間バッチ実行中に誤って再起動をかけてしまった際の「ジョブ詰まり」を掃除する。
- ・「実行モード」コンボ切替による各アイテムの不自然なロックを抑制。

2023-6-21 Ver2.74 作成

- ・スクロールバッファ修正時に app.js を破損してしまう場合があるバグの修正
- ・エラーで中断してもシステム設定値を書き換えてしまう場合がある不具合の修正
- ・管理者昇格できなかった場合、処理を止めるよう訂正

2023-7-4 Ver2.75 作成

- ・TeCA 終了処理時に全文検索エンジンの挙動を最適化するよう、[ゴミジョブを掃除]に属性レコードのインデックス再構成処理を追加した。

2023-7-21 Ver2.75 A 作成 (TeCASetting2.75 + TeBack1.00)

- ・新規ツール「TeBack」を追加した。TeCA データベースのバックアップとリストアを PostgreSQL のバイナリダンプモードを利用して実施するコマンドラインベースのツール。

図面 TeCA システム設定ツール
2023-8-13 Ver2.76

2023-8-13 Ver2.76 作成 (TeCASetting2.76 + TeBack1.01)

- ・「TeBack」のリストア実行によりアップロードができなくなる場合がある不具合の修正。
- ・「TeCASettings」に、手のひらツールのデフォルト ON/OFF を追加。